

企画総務委員会 送付4-14

神田警察通りⅡ期工事の設計変更を求める陳情

受付年月日 令和4年7月7日

陳情者	提出者	1名
	署名者	325名
	計	326名

千代田区議会議員 桜井ただし様



神田警察通り II 期工事の設計変更を求める陳情

千代田区では 35℃以上の猛暑日が 100 年で約 40 日程度増加します。(気象庁予測) 熱中症で亡くなる人は、年々増加しており、このままでは、千代田区に人が住めなくなります。

例年になく酷暑の中、イチョウが伐採されようとしています。こんな悲しいことはありません。

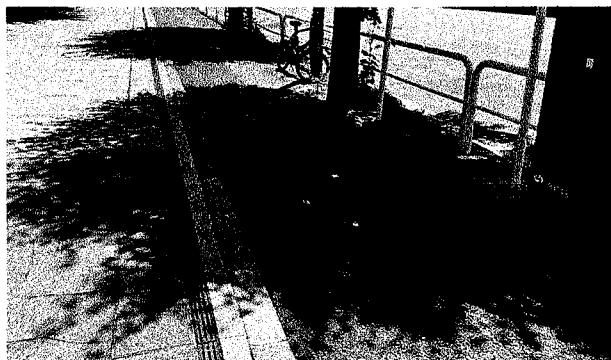
先人たちがきれいなまちづくりと防災のためにイチョウを植えました。そして住人は戦後 70 年余、イチョウとともに地域で絆を深めてきました。

ヒートアイランド現象の中で、天然のクーラーである樹木を切って、環境を悪化させることは、ここに住み働くものとしては考えられません。

区は歩道幅員 2m が必須と説明してイチョウの伐採を決めてしまいましたが、国も東京都も他区においても 1.5m の経過措置を置くのが通常です。I 期工事を石川前区長が進めたように II 期工事でも区長判断により、樹木の保存もバリアフリーも両立可能です。

私たちは工事自体に反対しているわけではありません。イチョウを残したまま整備することを望んでいます。工事計画を作るに当たり、協議会に女性の委員は一人もいませんでした。街づくりの議論には、多様な視点が不可欠です。

神田を愛する住民の思いを広く聞き取り、イチョウを残すよう設計変更をお願いいたします。



イチョウの緑陰 (左) とヨウコウザクラの緑陰 (右)

